

第2回 CIM導入推進委員会<議事概要>

【日時】 平成28年11月30日(水) 15:00~17:00

【場所】 中央合同庁舎第3号館 10階 共用会議室A

【議論のポイント】

○ガイドライン策定に関わる意見

- ・ガイドラインは基本フレームとなる必要最低限の事項をしっかりと決めて、そこから各事業、現場で重点を置く項目をプラス α として、追加していくような考え方も必要。
- ・今後の市町村へのCIMの展開も考慮し、地元の建設会社でも取り組み可能な活用事例等を分かり易く記載するような工夫も必要。
- ・BIMの活用事例のように、異なる設計者、施工者が作成したモデルを統合して、干渉、取り合い等をチェックするような活用の観点も必要。
- ・維持管理はCIMの活用事例(ユースケース)と、発注者にとって必要な属性情報を示してやることと、それを現場で活用しながらスパイラルアップしていくような進め方が必要。
- ・今回は3Dが主となるが、いずれは4D(時間管理)、5D(コスト管理)の活用も目指していくべきであり、念頭に置き進めて頂きたい。
- ・電気、ガス、水道等の占用物件を管理する視点におけるCIMの活用、また許認可に対しCIMをどのように活用していくべきかの議論も今後必要。

○次年度以降の試行に関わる意見

- ・規模の大きい事業等を対象に、民間技術、英知等を結集したチームとして取り組んでいく試行も、今後、最先端のBIM/CIMを目指していくうえで必要。
- ・当面の検討事項に関する試行に加えて、ネットワーク等を活用したデータ共有、上流段階(地形モデル等)から始める試行等、将来の目標にチャレンジしていく取り組みも必要。

○ロードマップ策定に関わる意見

時間軸・コスト管理等のCIMの活用レベル、情報共有のあり方等を含め、10年後に目指す目標、また途中5年後の目標を明確し提示することが、CIMの推進・普及に必要不可欠。

○データ共有・管理に関わる意見

CIMの目的である関係者間データ共有に向けて、ネットワーク等を考慮したデータ共有の仕組みづくりの検討とともに、変更履歴等の時系列管理、セキュリティ等のデータ管理をどのように考えていくべきかの検討が必要。